



# 社会福祉協議会便り

編集・発行 塩冶地区社会福祉協議会 事務所 塩冶コミュニティセンター内 TEL 21-0248



## 平成27年度『評議員会』開催

平成27年5月21日(木)、今年度の塩冶地区社会福祉協議会評議員会が理事16名、福祉委員13名、評議員14名、監事3名で開催、平成26年度の事業報告及び決算報告、「ぬくもりのある手づくりの福祉のまちづくり」を目標とする「平成27年度事業計画及び予算案」が承認され、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、青少年育成にかかわる活動が行われます。

本年度は例年行ってきた各活動のほか、社協法人化の検討や「ユニバーサルデザインのまちづくり」の調査結果を小冊子にまとめること、町内会加入率アップを目的に社協ホームページを開設、塩冶小学校に在学する日本語を話せない日系ブラジル人などの児童のための「日本語教室」を5月より毎月開催する等のいろいろな事業に取り組む予定です。

### 本年度の主な事業予定

- 平成27年5月 評議員会  
日本語教室(5/25より毎月開催)
- 6月 戦没者追悼・平和祈念式  
高齢者料理教室(話食交流会)
- 7月 福祉座談会、青少年修養の集い
- 9月 高齢者福祉大会(9/21 敬老の日)
- 10月 児童福祉綱引き大会、認知症研修会
- 11月 ひとり暮らし高齢者懇談会(いこいの集い)、福祉座談会
- 平成28年2月 高齢者料理教室(話食交流会)

#### 予算概要(収入の部)

項	予算額(円)	内訳(主なもの)	項	予算額(円)	内訳(主なもの)
負担金	879,600	各種事業参加者負担金	総務費	2,110,041	ふれあいサロン、会議研修等
市社協支出金	1,126,921	各種事業補助金	広報広聴費	468,203	社協便り、福祉座談会、HP
地区支出金	724,000	塩冶自治協会交付金	高齢者費	987,850	高齢者福祉大会、料理教室
繰入金	2,006,100	福祉基金、布野基金	身障者費	616,600	バリアフリーマップ、愛友会補助
繰越金	204,485	前年度からの繰越金	青少年費	796,000	綱引き大会、日本語教室等
諸収入	58,894		予備費	21,306	
計	5,000,000		計	5,000,000	

#### (支出の部)

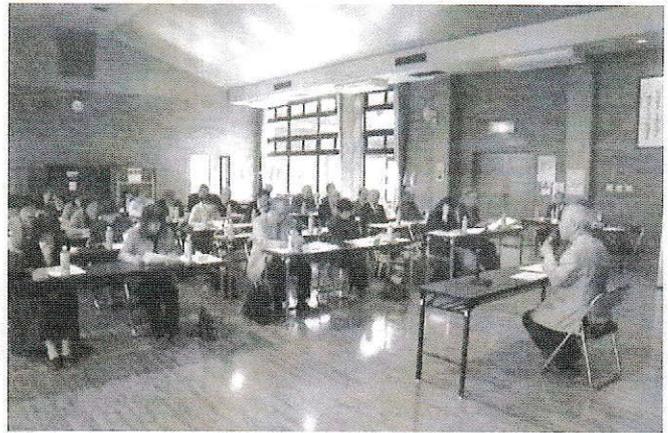


## 理事・福祉委員合同研修会開催

4月18日(土)、平成27年度塩冶地区社会福祉協議会の理事・福祉委員の合同研修会が理事21名、福祉委員11名の参加により、塩冶コミュニティセンターにおいて開催されました。

合同研修会の冒頭には、新任福祉委員の方々には中尾会長より委嘱状が交付され、続いて「社会福祉協議会の現状と未来像」をテーマに、社会福祉を構成する各組織やその法的根拠、出雲市社会福祉協議会と塩冶地区社会福祉協議会の関係、いろいろな活動を行う各組織の役割、また連携・分担して地域の社会福祉を担っていること等について、中尾会長より講義があり、参加者全員で改めて社会福祉活動に携わることについて再認識しました。

その後、各専門部会の部長より、年間を通じた部会活動について説明を行いました。今年度より福祉委員も希望により各専門部会に所属し、いろいろな行事等の支援をしていただくことになり、活躍の場も一段と広がりました。



塩冶地区社会福祉協議会組織図



## 新任福祉委員を委嘱しました！



### 後列左から

野津雅子、田中園子  
加藤早苗、小島寿子  
坂本裕二、森山逸子

### 前列左から

杉原弘江、平尾庸子  
周藤祥三\*、中尾一彦<sup>○</sup>  
花田敦子\*、勝部紀代子  
深田悦子

前列中央は社協理事  
(会長<sup>○</sup>、副会長\*)

### 〈塩冶地区社会福祉協議会 福祉委員名簿〉 下線は新任委員

永瀬弘之(菅沢) 矢田隆志(半分) 清家好子(半分) 平尾庸子(築山) 杉原弘江(宮松) 板倉和子(下沢) 勝部紀代子(下沢) 矢田邦雄(揚) 深田悦子(揚) 奥田和美(弓原) 野津雅子(高西南) 三浦博代(高西南) 加藤幸子(高西北) 矢田静子(高西北) 讚岐隆文(大正海上) 吉田一治(大正海上) 荒木厚子(大正海上)  
田中園子(北天神) 加藤早苗(北天神) 小島寿子(北天神) 坂本裕二(南天神) 森山逸子(中天神)  
福山千代工(天神団地)

## 塩冶地区戦没者追悼・平和祈念式



平成 27 年 6 月 6 日 (土)、塩冶地区社会福祉協議会主催の「塩冶地区戦没者追悼・平和祈念式」が、妙傳寺において、町内 6 寺 (神門寺、長樂寺、妙傳寺、妙雲寺、本覚寺、浄音寺) により営まれました。

法要は遺族の方々 46 名、来賓として出雲市遺族会会長川上繁男様ほかの出席により、戦没者名簿奉呈、各寺住職による読経、その後には塩冶地区社会福祉協議会中尾一彦会

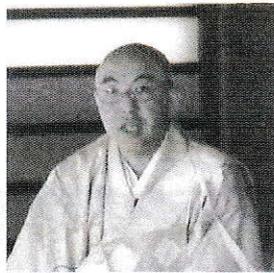
長が追悼の辞を述べました。



続いて塩冶地区遺族会飯國克郎会長から戦没者への想いを込めた謝辞が述べられ、最後に妙傳寺の田中住職より、平和を祈念する体験を交えた興味深い講話があり、参列者全員で熱心に拝聴しました。(下段参照)

### 妙傳寺田中英潤住職の講話 (要旨) 「戦後 70 年という月日・・・」

私は昭和四十一年生れ、高度経済成長のころの生まれ。両親は戦争を経験した年代、戦前・戦中・戦後の話を聞いたことを今になって思い出します。全く戦争を知らない世代が人口の大半を占める現在、戦後 70 年という月日の中で遺族の方々が実際に体験されたことを伝道者として私達に伝えていただければ幸いです。



父の仕事の関係で松山市に生まれ、何回かの転校後に広島市の某大学に入学、結婚してこの妙傳寺に来させて頂くまでの約 10 年近く、広島市内や東広島市に住んでおりました。昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾が広島に投下。当時の人口約 35 万のうち 9 万～16 万 6 千人の方々が被爆から 2～4 カ月以内に亡くなられたとされています。大学の学生の両親の中にも、被爆者や被爆 2 世といわれる方が何人かおられました。広島では被爆体験や戦争体験を話す機会、学校教育で伝える活動を地道にされている事を思い出します。

ですが現在の小中学生へのアンケートによると原爆が投下された日時が分からないなど、意識低下が問題視されています。また「戦争ゲーム」や「サバイバルゲーム」をする人たちも。

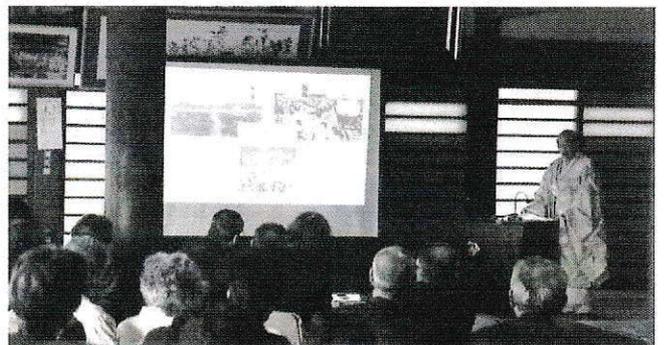
先程読誦させていただいた「法華経」の中には、どんな人間でも善人であり、同時に悪人であるとお説きになっています。人間の心は常に「仏様の心」と「地獄の心」を持ち合わせ、それが「ある条件」によって、コロコロと常に変化し続けていると説かれています。変化し続ける自分の心の動きを出来るだけ良い方向 (仏様の心) で保つ為に、日頃から心を美しく僅かな善い行いをしていこうと精進し、実行していただくのが仏様の教えである仏教なのです。これを端的に現した偈文が「七佛通戒偈」  
 「諸悪莫作 衆善奉行 自浄其意 是諸仏教」  
 「ありとある悪を作さず ありとある善きことは 身をもって行い おのれの心を清めん これ諸仏の御教

えなり」「仏教とは悪をなさず、善を行い、自らの心を清めることに尽きる」という意味です。人生を歩む上で迷った時に根本となる言葉だと思います。時にこの一節を思い浮かべていただき、目先の損得だけでなく、「自らの心を清める」という良い結果をもたらす賢者の選択肢をじっくり考えていただければ幸いです。

お釈迦様でさえも最初から人々に無理難解なお話をされたわけではありません。私どもが読誦するお経も難しいお経から易しいお経まで数多くあります。皆様もお釈迦様がお弟子さんにお話されたように「伝えやすい」「話し易い」ことから話していただければ次世代の方々もきっと理解していただけたと思います。

「敵」と「味方」に分かれてお互いの国同士の利害関係や国と国との境界線を争って罪もない尊い命が今も地球上の何処かで犠牲になっています。ですが地球上に国々が決めた国境という境界線は存在しません。この僅かな境目の為に、お互いの心を「地獄の心」に変貌させて、争いを日々続けているのです。私達が常に「仏様の心」を持ち続けることが「争いの無い平和で幸せな世の中」にする第一歩だと思います。

時に晴れた夜、夜空を見上げていただき、青い地球に摩訶不思議な偶然によってこの世に生を受け、直接眼に見えないけれど、お互いに繋がりあっていることに思いをはせながら、広大無限に広がる大宇宙に私どもの命は存在していることを僅かでも感じていただければ幸いです。「南無妙法蓮華経」ありがとうございました。



# 日本語教室始まる！

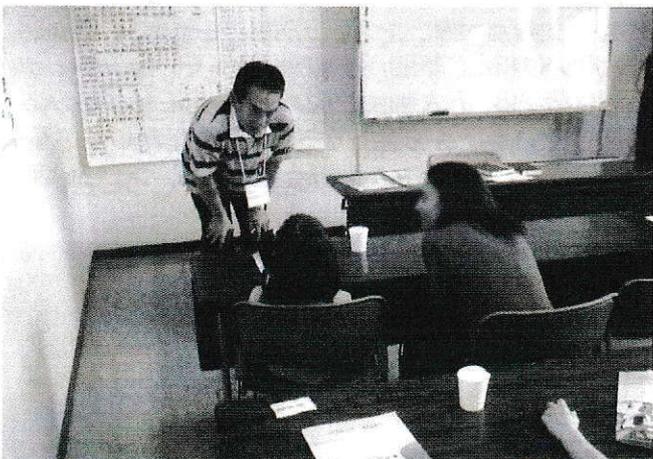
国際社会になり出雲市にも多くの外国人の方が住まれるようになり、塩冶小学校でも30人余りの日系ブラジル人児童が通学しています。なかには日本語をよく理解できない児童も多く、早く日本の生活に慣れていただくために月2回(8月は4回)、日系ブラジル人の福本勇様を講師に日本語教室を実施することになり、15人の申し込みがありました。

5月11日(月)の開講式には栗原校長(塩冶小学校)・児童・保護者を迎え、講師 福本勇様の通訳のもと、塩冶地区社会福祉協議会 中尾会長から“日本語を学んだり、友達をたくさん作ったりしてほしい”などの挨拶があり、続いて子供達に自己紹介をしてもらいました。なかには、緊張して話せない子もいましたが、勉強が大好きという子もいました。保護者の中には、こんな機会があって嬉しいという声もありました。



5月25日(月)は、13人の出席で新しいテキストを使い、挨拶や今日の天気は？など通訳しながら一人一人日本語で答えているので時間がかかりますが、少しずつ勉強が始まりました。子供さんは個人差がありますが、賑やかな雰囲気になってきました。

スタッフもポルトガル語が片言でも話せるように頑張っていきたいと思います。



(青少年育成部)

## 揚東 サロン会

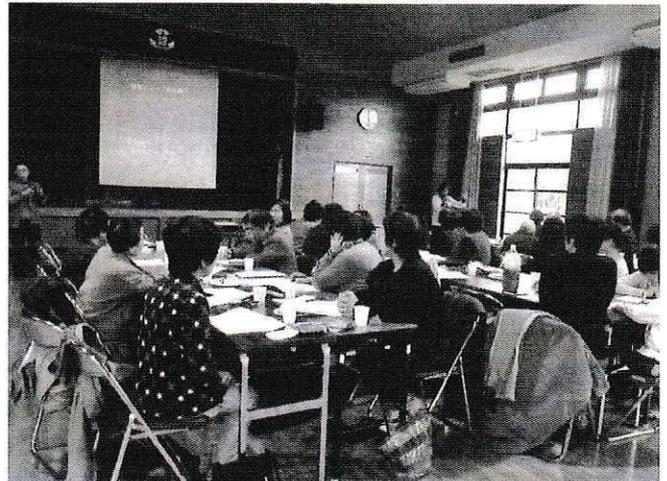
## 漢方と健康生活 知って得するいいお話

2月22日(日)、塩冶コミュニティセンターにおいて、漢方医の李頌華氏(いずも医院 中薬薬顧問)を招いて、第3回ふれあいサロン会を参加者34名で開催しました。

漢方治療と西洋医学の違いやお茶・サプリなど漢方と健康生活についてお話いただきました。その中でポイントとなることとして

- 漢方治療の基本は、自身の体質を知ること
- 体質に合った服薬が大事
- 一種類の漢方より組み合わせの方が効果があり、副作用も軽減することが多い
- 血行循環の改善に漢方は有効で、特にウコンやイチヨウの葉が注目されている
- イチヨウの葉は認知症の予防や改善に効果がある
- 人の体質は「燥熱(強い)」、「虚寒(弱い)」があり、体質によってお茶を選ぶとよい

・・・など、たくさんのお話がありました。是非とも普段の生活に取り入れたいものです。



講演後の昼食会では、「イチヨウの葉」の話で盛り上がり、まずはお茶から始めようと改めて健康を考える機会となりました。

また、今回は、子ども会のお母さん方にも参加・協力いただき、交流を広げることができました。



(理事 周藤由紀子)



## ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(3月1日から5月31日まで) 敬称略

### 香典返し

(3月1日～3月31日まで)

寄附者名 故人名 区域名

※ホームページでは本欄の個人名は非公開とします。

(4月1日～5月31日まで)

寄附者名 故人名 区域名 寄附金額

※ホームページでは本欄の個人名は非公開とします。

※ 掲載欄の 一は、掲載を希望されない方



\*\*\*\*\* 編集後記 \*\*\*\*\*

昨年度より地区の社協に関わらせていただき、早二年目・・・となります。この間、地区内の色々な諸先輩方にご指導をいただいたり、この社協を通じて新しい出逢いがあり、街角でお声を掛けていただいたりして、今まで以上に充実した日々を過ごすことが出来ましたことを何よりの喜びと感じております。

今年度も「社協便り」が地区の皆様の良き架け橋となるよう精進させていただく所存でございます。

(理事 田中英潤)

\*この「地区社協便り」は、出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しております。

## 天神 サロン会

## 花とロコモ体操を楽しむ

5月17日(日)、天神集会所において、今年度最初の茶のん話を34名の参加で実施致しました。

まず、午前の部として瀬島生花店 店主 瀬島豊氏の『花を楽しむ方法』の演題で、土づくりの準備、肥料のやり方、手入れの仕方など、わかっていそうでわからないことを大変詳しく教えていただきました。



また、切り花では「切り花を長持ちさせるために」ということで、花の茎を切るときは、清潔でよく切れる刃物を使い、茎を斜めに切ること。花瓶や容器の内面を清潔な水で洗い、酸性水につけると長持ちし、夏場は花瓶の水が腐りやすいので毎日替えることが必要になるということでした。

午後は、健康運動指導士の勝部恵子先生による『長持ちする体づくり～ロコモを知っていますか～』という演題で始まりました。「ロコモ」とはロコモティブ シンドロームの略で、骨や関節、筋肉などの働きが衰えることで、寝たきりや要介護になる危険性がある状態のことを言ったものです。別名「足腰が弱るかもしれない症候群」



足幅を腰幅より広めにとり、スクワットで股関節・膝・足首の関節をゆっくり動かしたり、片足立ちで左右それぞれ立ったりと簡単なように見える体操でも結構汗をかいていい運動になりました。無理をせず、体が痛くない程度にやるのが重要になると説明がありました。毎日少しずつでもやれば、自分の健康チェックと予防になると思いました。

(理事 奥野幸男)